ベビー発達育児教室（歩くまえまでの教室運営）コンサル・指導概要

ままこや 山野井恵摩

ベビー発達育児教室の概要

現状としてベビーマッサージ教室や脳科学のような乳児教室は多いが、育児や発達の問題に対してアプローチをするような教室は少ない。

この時期の発達面やペアレンティングの知識、または親御さんへの具体的な育児方法やアドバイスなど多岐にわたっての知識と能力を要することになることがあげられる。

発達と育児の両面からアプローチすることで、効果的な変化がみられる。

コンサル・指導のプログラム

今回、ベビー発達教室を行いたいという声をたくさん頂き、教室を運営するためのノウハウや知識を身につけるためのコンサル・指導プログラムを作った。

プログラムには発達の知識とともに脳科学、子育て心理学、NLP 家族療法の養成講座で学んだ内容を歩きはじめの教室のために体系化している。

ベビー発達育児教室をするために必要な知識・プログラム

1. 歩き始める前までの発達の知識
2. 各発達時期におけるアプローチ方法
3. 各発達時期に行う育児方法の指導方法
(抱っこの仕方、授乳方法、オムツの替え方、うつ伏せのさせ方、離乳食のあげかたなど)
4. 発達の問題があるケースの修正プログラム
5. 子育て心理学の内容を教室に反映する仕組み（母親指導）
6. 行動療法を用いたプログラムを教室に反映する仕組み（親子・子どもへの対応）

約 15 時間

コンサル・指導内容

☑上記の1～6の講座を受講し、必要は知識を身につける。

☑教室に必要な道具やその利用方法。教室を行うためのプログラムの構成の仕方などを学ぶ。

このコンサル・指導の最終ゴール

教室を運営から実働までできるようになり、親御さんの発達や成長における不安を解消するアドバイスをできる育児支援の専門家となる。

特にこの時期の親の子どもへの対応方法を学び、それを母親ができるようになるまでの指導を行い、育児の中に反映されることができることが最終ゴールとなります。

期間

3カ月の間で1～6のカリキュラムを受講します。

教室スタートより1か月は症例などに対するアドバイスが可能

講座は講師と打ち合わせをし、予定をたてzoomにてセミナーを受講してもらう。

そこで教室における知識の活かし方などを定期のコンサルの時間に指導するという流れとなる。

料金

380000円（分割も可能）